



館長のご挨拶 ～新年度を迎えて～

平成29年4月、桜の季節を迎えて、まちなか環境学習館職員一同、張り切って学習館の管理業務に励んでいます。昨年7月には学習室の利用者が4万人を突破して、その後も順調に利用実績を伸ばしています。まちなかエコ市場(年4回)や、まちなかおそうじ隊事業なども実績を蓄積してきました。また、平成28年度は環境省の協働取組の加速化事業に採択され、宇部市の環境学習の向上に産官学民が一体となって取り組みました。

平成29年度は、銀天エコプラザが位置する中央街区公園の整備事業が実施される予定です。

9月中旬から来年3月中旬までの工事期間なので、12月のまちなかエコ市場の開催は困難な情勢です。整備計画の内容紹介は、5月号のエコプラザ通信に掲載する予定で準備を進めています。

まちなか環境学習館では、環境学習の場として学習室やミーティングルームの使用が円滑に行えるように努力してまいります。また、外部との連携を通じて環境学習の推進と、まちなかにぎわいの促進に寄与していきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

まちなか環境学習館 館長 薄井 洋基

平成28年度環境サロンの概要報告と次年度の抱負

今年度環境サロンは11回開催のうち、後の方の7回は宇部志立市民大学環境学部OB会の企画で実施しました。環境省プロジェクトとほとんど目的を一にするので、相補い合った内容になりました。宇部市が主催されたセミナーでも重要な内容を補うことができました。得られた情報は、ポータルサイト“うべっくる”を利用して、広報することに努めました。

主な内容としては、社会教育に関して2題、里山再生・自然共生に関して3題、エネルギー関係3題、その他3題といったところです。上宇部校区のとりにくみや、宇部市における放課後子ども教室の位置づけ、自伐林業による里山再生の可能性、みやま市や紙おむつのリサイクルの見学も印象に残りました。

次年度は、校区出張サロンの企画、OB会等との連携を強化し、



環境サロン講師のみなさま



より参加者を多彩にし、環境サロンが、CS-ESDに関連した人材の相互研修の場となるよう近づけていきたいと思えます。
(浮田正夫)

まちなか環境学習館のご案内

4F

学習室

どなたでも無料で利用できる学習室です。

静かな環境で
「使いやすい」
「集中できる」
と評判です。



環境関連等の図書も830冊以上備えています。初めてご利用の際は、1F事務室で利用者カードを発行いたします。

2F

3F

ミーティング ルーム



2F(小)



3F(大)

ミーティングルーム	小(12人程度)	大(30人程度)
9:00~12:00(3時間)	216円	540円
12:00~17:00(5時間)	324円	918円
17:00~21:00(4時間)	378円	1,026円
冷暖房費	60円×利用時間	150円×利用時間
※貸出備品/プロジェクター(スクリーン含む)……各時間帯 1,080円		

ご予約、お問い合わせはこちらまで

宇部市まちなか環境学習館
TEL 0836-39-8110

まちなか銀天おそうじ隊募集!

まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードや塩田川、中川などを掃除しています。楽しく「まち」を、きれいにしませんか?

4月30日(日) 15:00~

まちなか環境学習館前に集合です。(道具は用意しています)
おそうじ隊参加者には環境地域通貨エコハ2枚進呈!



宇部市環境学習ポータルサイト

「うべっくる」

うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com> [kuru.com](http://www.kuru.com)

「子育てグッズリユース広場」の必要性

宇部市の子育てグッズリユース事業をNPO法人うべネットワークが受託し、「子育てグッズリユース広場」を開催するようになり2年半が経ちました。NPO法人うべ環境コミュニティー、宇部おもちゃ病院に協働団体として参加していただいた事で開催場所をまちなかエコ市場に定着させる事ができ、また、宇部おもちゃ病院を同時開院することで子育てグッズを譲渡するだけでなく、壊れたおもちゃの修理を子どもたちに見せる事によって各々が修理して物を大切に使うという意識付けにもなっていると実感しています。

平成27年、28年の宇部まつり青空ゾーン内で、子育てグッズリユース広場に関するアンケートを行いました。毎年80%の市民が子育てグッズリユース事業が必要だと答えています。また、他市の方からは、「自分の住んでいる市には、このようなサービスがない、若い世代にとってはありがたいサービスで羨ましい」といった意見もいただいています。



回収場所一例/市役所 1F

各回収ボックスに入れられるグッズ数も年々増加し、さらに市民からの要望もあって平成27年度から子ども用スポーツグッズ、平成28年度から学生服も回収を始め、譲渡しています。

NPO 法人 うべネットワーク



子育てグッズ譲渡の様子

制服譲渡の様子



子ども用スポーツグッズは、毎年10月に行われるスポーツコミッションフェスタで、学生服は子育てグッズリユース広場と併設で譲渡されています。

平成29年度も子育てグッズ・子ども用スポーツグッズリユース事業の目的に謳われている、**ごみ減量と環境への負荷の軽減、子育て世帯の経済的負担の軽減等**の支援等を念頭におき、「環境」、「子ども」、「まちづくり」等の市民活動団体や学生などの多くの市民を巻き込みながら資源循環のまちづくりのための啓発を担えたらと思います。

NPO 法人 うべネットワーク

理事 作本季里

宇部市新天町1丁目2-36 まちづくりプラザ 2F

電話 0836-36-9555

うべ環境コミュニティー会員



コラム

「サポート:手伝い」



随分前のことですが、管理職員等研修において忘れられない“先輩講師Kさんの話”があります。

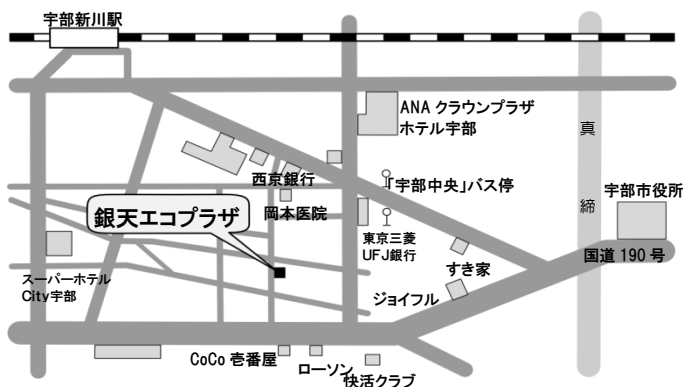
Kさんは、一番年下の部下S君(独身)が、仕事が進まず悩んでいる様なある朝、職場に花活けに来られているお花の先生から花一本をもらい、一輪挿しとしてS君の席に置き、席を離れて見ていました。S君(年下は机拭き当番)が出社、机の花を見て きよろきよろきよろきよろしている。そこへKさんが席に帰り、「お！お前、いい娘が出来たんか？花飾ってもろうて、ええのお～」 S君は、「違いますよ、知りませんよ・・・」と言いながらも嬉しそうにも見えました。この後、先輩たちの冷やかしも有りましたが、勢いよく仕事に出て行き、夕方には胸張って「出来ました」と、元気に帰って来たとのこと。(その日はS君の誕生日でした。)

Kさんは、「^{わし}儂に出来ることは、花一本もらうこと、後はS君がどう思うかの事よ。“手伝い”もよし悪しじゃけーの」。Kさんの気づきと粋な計らい、KさんとS君の信頼関係が十分感じられました。

その後、私も自分なりに部下個々の状態を見ながら仕事に当たってきました。以前は、男の職場と言われていましたが、段々若い女性が増えて来て、躊躇するようなことも有りましたが、仕事は男女平等と、指導・助言を進めて行きました。“手伝い”と言えることが幾つあったかは定かでは有りませんが、今、部下はそれぞれ指導者として活躍している様です。

現在、私は『NPO法人うべ環境コミュニティー』に加入させてもらっています。環境学(工学系)は浅学で専門的なことは出来ませんが、研修会場設営、エコ市場等の準備・設営及び運営等の手伝いに参加させてもらっています。これも“手伝い”になりますか？

(神田正利)



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekankyocom@gmail.com

開館時間 9時~21時 HPアドレス; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)